

## 技術普及事業 技術普及部会における『業界人材育成』に関する支援

当協会が、協会Webページ等で発信している多数の情報の中から注目していただきたい公益目的事業活動に関する内容をピックアップ! 第7回は技術普及部会が担う技術普及活動の中から、人材育成に関する支援について紹介します。

### ◆測技協が実施する7つの公益目的事業活動

公益目的事業「測量調査技術の高度化とその普及」		
(区 分)		(事 業 内 容)
1	技術研究	共同・受託研究 技術委員会部会WG活動における自主研究等 外部委員会等
2	技術普及	発表会・セミナー等開催 機関誌・技術図書発行 情報発信・共有、人材育成支援 <b>Pick up!</b> 測量継続教育(CPD)
3	地理情報の標準化	ISO/TC 211国内審議団体の活動 地理情報JIS原案作成 地理情報標準の普及
4	地理情報認定資格	地理情報標準認定資格(S-GI-Cert)の運営
5	品質検定	測量成果品質検定/「測量成果品質管理」優良表彰
6	災害時緊急撮影	協定に基づく対応/訓練
7	表彰	優秀技術論文/優秀発表

### ◆技術普及部会における業界人材育成

技術普及部会は、技術研究自主研究等を行う技術委員会の役割のうち、標準化された技術、規格、新技術の社会に向けた発信、新技術の普及・研修・啓蒙を担う部会として、2004(平成16)年の技術委員会改組に合わせ、それまでの教育普及委員会と広報委員会(一部)の機能を引き継ぐ形で発足しました。

毎年東京で開催される「測量調査技術発表会」の企画、運営は、技術普及部会の大きな役割のひとつですが、近年は大学他からの学生向けの業界説明依頼が増えています。

#### ○大学における業界案内

法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科から依頼を受け、2年生向けの「基礎ゼミナール」において、測量・建設コンサルタントの仕事とキャリアプランを紹介する講義(1コマ:100分間)を行っています。

この活動は2020年度にスタートし、6年間継続しています。聴講する学生は毎年50名を超えており、土木工学を学ぶ学生が測量・建設コンサルタン

ト業界を知る良い機会となっています。特に、測量・建設コンサルタント業界の特徴である災害時の社会貢献や資格取得などの自己研鑽に学生は興味を示しています。また、講師の失敗談も受けが良いトークテーマです。

目 次	
1.	測量・建設コンサルタント業とは？
2.	測量・建設コンサルタント業の主な仕事と魅力
3.	キャリアモデルの例
4.	測技協について
5.	最先端の地理空間情報技術
6.	未来の測量・建設コンサルタント

法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科 2025/1/22 3 公益財団法人 測量協会 日本測量協会技術振興部

法政大学での講義の目次

## ○その他の人材育成支援

2025年度は日本地理学会から依頼を受け、サマースクールに協力しました。このサマースクールは、大学生・大学院生を対象に毎年開催されており、地理学の強みを活かして第一線で活躍している民間企業・研究所・行政機関等の講義、共催・後援する機関・研究所の見学、グループワーク・実習を通じた学生同士の交流・意見交換などを行っています。

2025年度は技術普及部会が中心となってプログラム編成を行い、2025年8月27日(水) 13:00～17:00に立命館東京キャンパスで開催されました。参加者は、学生が対面9名、オンライン12名、測技協会企業が5社15名で、講義やディスカッションを通じて、地理学を学ぶ学生が測量・地理空間情報業界を知る良い機会となりました。

また、サマースクール終了後に日本地理学会のe-JournalGEOに掲載する「サマースクール開催報告」を各社で分担執筆し、日本地理学会の会員にPRしました。

 **日本地理学会サマースクール 2025**

**「デジタル社会の基盤を支える地理空間情報技術」**  
主催：公益社団法人日本地理学会 共催：公益財団法人日本測量調査技術協会

開催日時：2025年8月27日(水) 13時～17時  
場 所：立命館東京キャンパス(東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー8階)  
およびオンライン

募集人数：対面：20名程度 オンライン：30名程度(参加費無料)  
主たる対象は地理関連分野に関心のある大学生・大学院生。  
地理分野に関心のある高校教員などの参加も可。

**趣 旨**  
今日、地理空間情報は、デジタル社会の基盤を支える重要な情報要素、ベースレジストリのひとつとして位置づけられ、ますます重要性が高まっています。このサマースクールでは、地理空間情報技術の最先端を理解するとともに、測量業界の現場に働く若手技術者とのディスカッションにより、地理空間情報技術の現状と今後の方向について議論を深めることを目的に開催します。

**プログラム**  
講 義 「地理空間情報技術の最先端と測量業界の役割」

グループディスカッション「地理空間情報技術の現状と今後の方向」

- ・ 地方行政における GIS 活用の最前線
- ・ 3次元点群データを活用した災害把握
- ・ PLATEAU で造る快適な都市空間
- ・ 3次元データの「見える化」システム
- ・ 屋内空間の3D マッピング技術

(参加：アジア航測(株)・エアロトヨタ(株)・国際航業(株)・(株)バスコ・(株)FLIGHTS)

申し込みフォームはこちら→ 

問い合わせ先：日本地理学会企画専門委員会  
ajs.summerschool@gmail.com

日本地理学会サマースクールの参加募集チラシ

少子化が進むこれからの時代、担い手確保は産業界全体の最重要課題であり、測量・建設コンサルタント業界も例外ではありません。標準化された技術、規格、新技術に加え、我々の仕事と価値を社会、特に次世代を担う教育現場に発信することが、公益財団法人である測技協と技術普及部会の使命であると考えています。

## こちら注目 Pick up!

### ◆業界若手社員の交流「これからの測量技術を語り合う未来の主役たち」

担い手確保とは別の視点ですが、事業委員会が主体となって「これからの測量技術を語り合う未来の主役たち」という若手社員同士の意見交換会を開催しています。

切っ掛けとなったのは2023年度の地区事業委員会です。複数の地区で、「業界の将来を担う若手社員たちが、会社の垣根を越えて、課題の共有や意見交換を行う場があってもよいのではないか」という意見を頂きました。これを踏まえ、2024年度に東海地区の会員企業を中心に「これからの測量技術を語り合う未来の主役たち in名古屋」というイベントを試行的に開催しました。参加者は13社36名。「普段なかなか機会がない同業他社の営業・技術・管理の社員と交流ができ、互いに今後のつながりを持つことができた」と、結果は大変好評だったことから、2025年度は、福岡で開催。参加した11社28名が、「10年後の測量技術」というテーマでグループワーク、発表を行い、終了後の交流会も含め、九州に勤務する仲間同士が、絆を深めることができました。

このイベントは、主体的に運営する地区会員の方々の協力がなければ開催は難しいですが、希望する地区があれば、今後も活動を続けていきたいと思っています。



発表の様子 (in 福岡)